ふだんのくらしのしあわせ

野洲市社会福祉協議会

福祉推進校事業

2026／5／19

やすのみらい🌱タネまき隊

福祉推進校事業交付説明会（学習会）に至った経緯について

「対話を大切に」

先生といっしょに
考えたい！

福祉学習をすすめていく上で大切にしたいことは「対話」です。
（自分の意見や考えは否定されない関係であること）
自分とは違った考えがあることを受け入れて認め合える関係を福祉学習では大切にしていきたいと思っています。
それは、学校の先生と社協職員にも置き換えることができるのかなと思っています。
おすすめプログラムは、社協職員内で考えて提案するものにはなるのですが、ぜひ、学校の先生といっしょに対話を重ねて企画し進めていきたいと考えています。

福祉学習おすすめプログラム

1. 【キャリア学習】

障がい福祉の若手職員と学生とのリアルトーク

中 高

2. 【いのちの学習】

Hug Baby(子育て支援団体)による子育て体験など

小 中 高

3. 【地域／キャリア学習】

①昔あそび＋
トークフォークダンス

〇その他、地域の方との交流
（スクールガード・民生委員児童委員）

小 中

②星空ブラザーズと交流しよう！

〇野洲市内在住：兄弟漫才師
漫才師を志した理由や現在の
今を語る、トーク会

小 中 高

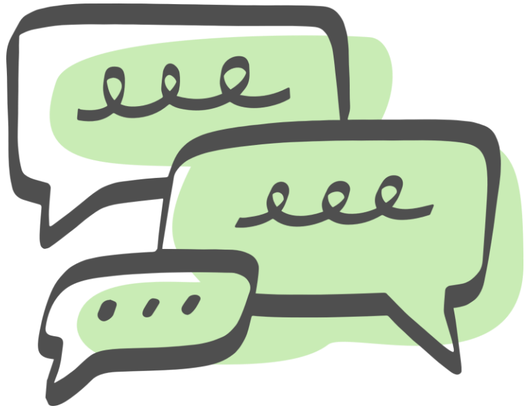
1. 【キャリア学習】　野洲市社協 障がい者相談支援センター 担当 中塚

「ここが気になる！
障がい福祉の若手職員と学生の リアルが聞けるトーク会 2026」

実施時期：令和9年2月～3月頃

対象者　：野洲高校生徒もしくは市内中学生

開催場所：各学校の教室



目　的　：学生と若い職員とのリアルな福祉トークによって、障がい福祉の仕事の内容とその仕事の魅力に迫り、市内学生の福祉学習のきっかけと若手職員の人材育成の機会とする。

具体的な内容

①入所施設、就労継続支援B型、計画相談、放課後等デイサービスの4種類の事業所の若手職員がそれぞれの仕事内容を5分プレゼンで説明する。
（※事業所が多すぎるとそれだけで時間がなくなるので、今回は4つの事業所。）

②その後学生から若手職員へ質問する。
※質問内容の2つぐらいは事前に聞いておいて準備して話してもらう。その後は予測不可能の質疑応答。
※流れの中で逆質問も可とする。

〇リアルトークに参加する学生は5名とし、その他の学生は後ろで観覧してもらう。
〇最後はセミナーに参加した学生と若手職員から感想をもらって終了。
〇観覧していただいた学生からもアンケート協力をお願いする。
〇セミナーの時間は1時間30分（授業2コマ分）で終了。
〇実施運営は4名（4事業所）および　やすのみらい🌱タネまき隊メンバー全員
〇司会進行は　4事業所から1名　やすのみらい🌱タネまき隊から1名　どちらも若手職員が担う。
アドバイザーとして社協（中塚）がサポート。

2. 【いのちの学習】　野洲市社協 ファミリー・サポート・センター　担当 岩井

「Hug Baby（子育て支援団体）による子育て体験など」

「Hug Babyについて」

2019年4月設立
滋賀県内に住む、子育て中の母親5人が中心となり立ち上げた団体です。
現在、メンバー17名とともに活動しています。

主な活動は
高齢者施設への訪問
教育機関（小中高）における出張授業のほか、子育て中の方や子どもたち向けのあそび場「バトンタッチの会」も開催しています。
また、お子様連れでも参加できる助産師による勉強会や産後ケアの講座、家事やお金に関する勉強会なども主催し、メンバーや子育て中の方の学びの場も提供しています。

※活動の詳細については別紙をご覧ください

3.【地域／キャリア学習】 野洲市社協 ボランティアセンター 担当 山本

「①昔あそび+トークフォークダンス」

・地域の方と昔あそびを通して交流後、お話をしよう！

トークフォークダンス

フォークダンスのように円形の輪になり、1分～数分ごとに相手を変えながら対話（トーク）を繰り返すコミュニケーション手法です。大人と子ども（生徒）、住民同士など、多様な世代・立場の人がペアとなり、指定されたテーマについて語り合うことで、相互理解を深め、対話力の向上や地域のつながり創出を目的としています。

※お話相手は、身近な人でも

例えば、スクールガードさんや保護者のみなさん、地域で活動している民生委員児童委員さんや自治会長さんなど。

トークフォークダンス

★主な効果と特徴

①フォークダンスのように相手を次々と替えるため、限られた時間で大人数と対話でき、学校、企業、地域住民の交流会などで関係づくりに効果的です。

②短時間でテンポよく話すため緊張がほぐれ、信頼感や親近感、相手への興味・関心を高める効果が期待できます。

③お題に沿って自分の思いを話し、相手の話を聞くというルールを繰り返すことで対話力が鍛えられます。

④中学生と大人、小学生と地域住民など普段交流の少ない異年齢・異文化間の相互理解を深めるツールとして活用されています。

トークフォークダンスのテーマ例

「大人になるってどういうこと？」

「子どもの頃の夢は？」

「最近嬉しかったことは？」

「もし明日が休みだったら何をしたい？」

「好きなことを仕事にすべき？」

「②星空ブラザーズと交流しよう！」

星空ブラザーズ

野洲市出身の兄弟漫才コンビ
現在、兄はフリーで活動中　弟は大学2回生
野洲市だけでなく、県内外においてもライブ会場などで漫才師として活躍中！！
ボランティアセンター（社協）からの依頼で高齢者サロンやイベントなどにも出演

彼らの活動の根底にあるものは？
漫才をしようと思ったきっかけや、夢を追いかけているリアルなふたりのエピソードなどを話してもらい、児童や生徒からの質問などに答えてもらう。
彼らを囲ってのトークセッションなど。

対話形式参考・フィッシュボール形式

★フィッシュボール

①内側（話し手）と外側（聞き手）の二重の円に分かれて対話を行う
　相互理解を促進するワークショップ手法です。

②主なスタイルは、メンバーを固定する「クローズド」と、誰でも内側に入って発言できる「オープン（ダイナミック）型」の2つがあります。

③少人数で深い対話を行い、大人数でも「質の高い傾聴」と「文脈共有」が可能です。

フィッシュボール形式の基本構成

・インナーサークル（内側・話し手）
　３~5名程度。中心でテーマについて自由に話す。

・アウターサークル（外側・聞き手）
　その他の参加者。中心の会話を観察・傾聴し、気づきをメモする。
　※インナーサークルとアウターサークルを交替する。

・空間
　金魚鉢（Fishbowl）のように、中心の対話を外側が囲む。

フィッシュボール形式の主な効果と特徴

①深い対話と傾聴
　発言する人数を限定することで、質の高い対話が生まれやすい。

②観察の視点
　外側の人も観察やメモを行うため、単に聞くだけでなく客観的な
　気づきが得られる。

③相互理解の促進
　立場の異なる人の考えを直接聞くことで、組織内の文脈共有や
　相互理解が進む。

④心理的安全性
　大人数でも発言の場が整理されているため、意見が出しやすい。

福祉推進校事業助成金交付申請について

・申請の流れ

社協　・5月　要綱・申請書及び事業計画書（様式第1号.2号）を配布

↓

各学校　・申請書の提出（様式第1号・2号）　〆切　6/26

↓

社協　・7月上旬　交付決定通知を送付　（様式第3号）

↓

各学校　・請求書の提出（様式第4号）※金融機関名、口座番号、口座名義　〆切　7/17

↓

社協　・期限内に提出していただいた場合、7/24にご指定の口座に振込を予定しています

↓

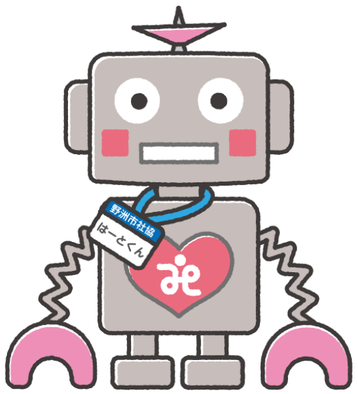
各学校　・事業実績報告書・事業実施報告書の提出（様式第5・6号）〆切 R9/3/31

・ありがとうメッセージ

MEMO

お問合わせ

野洲市社会福祉協議会



０７７-５８９-４６８３

tiiki@yasu-syakyo.or.jp

野洲市西河原2400番地